

4月4日
(水曜日)

西日本新聞

発行所
西日本新聞社
福岡市中央区天神1丁目
4番1号(〒810-8721)
©西日本新聞社 2012年
電話092(711)5555(代)
http://nishinippon.co.jp/

紙面の問い合わせ
読者室 092(711)5331
平日10～18時
土曜10～14時(日祝日休み)
購読・配達のご案内
0120-44-0120(7～20時)

長崎

長崎総局 095(822)0125

池島で映画製作 荻野監督、市に協力依頼

7月ロケ エキストラに島民も

九州で最後まで操業した旧池島炭鉱があった長崎市池島で、7月から映画のロケが始まる。荻野

欣一郎監督(41)が3日、高久市長に撮影協力を依頼し、長崎市役所を訪れ、田上頼した。



田上高久市長(右端)に映画の構想を語る荻野欣一郎監督(右から2人目)

仮タイトル「池島譚歌」。島に住む母親をしくした少年が、家に残された石が入ったかばんの意味を探る中で、母の死を理解し、親子のつながりや人との触れ合いの大切さを

知る様子を描く。7月下旬から池島を中心に県内で撮影。主役の少年は県内でオーディションをして、島の住民もエキストラとして出演する。カメラのレールを動かしながら、移動しながら撮影する「ギネス記録」にも挑戦する。完成は12月の見通し。

「撮影する過程をぜひ見ていただきたい。来年のカンヌ映画祭を目指したい」と意欲を語る荻野監督に、田上市長は「池島に光をもっと当てたい。いい映画に仕上げてほしい」と期待を寄せた。